

# 戦争法廃止で5野党が合意 国民の声で動き出した野党の選挙協力



総がかり取手行動パート6、取手駅東口前広場=2月20日

## 2・20総がかり取手行動パート6

2月20日取手福祉会館で行われた「戦争させない・9条壊すな総がかり取手行動パート6」学習集会とデモに120名が参加しました。小澤隆一東京慈恵会医科大（憲法学）教授が「戦争法の本質と明文改憲の動き・緊急事態条項、及び私たちの課題と展望」について講演。

集会終了後、参加者は取手駅前まで「安倍内閣は退陣」「野党は共闘」「戦争法は今すぐ廃止」とコールし、デモ行進を行いました。

総がかり行動  
戦争法の廃止を求める  
**2000万人  
統一署名**

2月19日、5野党（日本共産党・民主党・維新の党・社民党・生活の党）党首会談が行われ、戦争法廃止の法案提出や以下について合意しました。

・安保法制(戦争法)の廃止・集団的自衛権容認の閣議決定撤回  
・安倍政権の打倒を目指す  
・国政選挙で与党と補完勢力を少数に追い込む  
・国会対応や国政選挙などのできる限り協力する

23日には5野党協議がスタート。選挙協力での合意事項を改めて文書確認し、政権の問題や戦争法廃止以外の政策面での共通項に関しても引き続き協議していくことを確認しました。「野党合意」の実現に、多くの国民から歓迎と激励が寄せられています。正に、国民の声と運動の後押しで政治が動きました。

## 野党共闘 共同の力で政治を動かす

選挙協力について日本共産党は、戦争法廃止・集団的自衛権容認の閣議決定撤回を野党共同の選挙公約とすることや、参院選1人区の選挙協力について合意を得ること、可能性のある所では無所属の野党統一候補の擁立を追求する、本格的な選挙協力を行うなどを基本的考えとしています。また、戦争法以外の政策課題についても可能な限り一致点を得るため努力をすると

しています。なお、すでに決まっていた日本共産党の参院一人区の予定候補者については「かなりの人は立候補を取り下げ、基本的には比例代表候補として活動していただく」としました。日本共産党は安倍政権の暴走に対決し、転換の展望を示す党として、野党の共同を大切に、共同の力で政治を変えるため、さらに力を合わせます。

## 2016年 新春のつどい

2016 参院選 野党の勝利・日本共産党躍進! 安保法制(戦争法)廃止を

2人の参院選予定候補者もお話しします。ぜひご参加ください。

3月12日(土)  
午前10時~  
取手福祉会館  
3階講座室



おくだ 智子  
(参院比例代表予定候補)



小林 きょう子  
(参院茨城選挙区予定候補)

## 「反共」のりこえ野党結束を

小林 節 慶大教授、「赤旗しんぶん」紙上で語る

野党の結束が大事です。その中で、「共産党とは一緒にやりたくない」という声をすいぶん聞きました。私自身もこれまで”普通”の日本人の1人として「反共」という「常識」を共有していました。しかし、この間、戦争法の論戦の中で自分の心を整理してみると「反共常識」には一つの根拠もないと思うに至りました。「共産主義」という考え方は、弱肉強食の最悪の新自由主義に対するカウンター（対抗）の原理、「共生」の経済原理

として再評価できます。「革命政党」とよくレッテル貼られますが、「革命」とは「急速な進歩」のことです。社会がよくなって悪いことはありません。「革命」によって既得権益を失う人たちが、悪いことのように言っているだけです。今回はそういう偏見を一気に取り払うチャンスだと思います。今回、共産党をのけ者にしたら、戦争法廃止も政権交代もあり得ませんよ。

(しんぶん赤旗日曜版2月28日号より抜粋)

## 3月定例取手市議会開催中 3月1日(火)~22日(火)

【日本共産党議員の主な一般質問】

### 加増みつ子

・新年度予算と市政。  
〔街づくり・地域  
経済・暮らし・財  
政と税制など〕

### 遠山ちえ子

・介護保険事業について。  
・生活道路・防災・減災について。

### 関戸 勇

・取手市環境基本条例と「建設残土の埋め立て」問題。  
・防災行政無線の改善。  
・治水対策国の方針転換を。

### 小池えつ子

・放射能汚染対策について。  
・公共交通の在り方と「ことバス」の運行と利用促進。

明るい取手前号(2/21)の市議会会派紹介で、「無会派」となっていた細谷・吉田の両議員は2月17日付けで会派「未来」を結成しました。



# 取手駅西口北開発 事業開始から23年 取手駅西口前一極集中のまちづくり

工事中のみずほ銀行横  
西部地区造成工事。



開催中の定例市議会で、取手市の新年度一般会計予算案（総額 365 億 5 千万円）及び、国保、介護、取手駅西口北開発等特別会計予算案の審議が行われています。今号では、特別会計取手駅西口北開発（北土地区画整理事業本年度予算 11 億 3 千 6 百万円）についての検証を行います。

## 先行きの見通しない 市最大のプロジェクト

事業開始から23年、これまで5回の事業計画・事業費の見直しを行い、基盤整備だけで、120億円の税金を投入してきました。その上、市民の圧倒的多数が反対したウェルネスプラザ、市長を被告に住民訴訟となっている歩行者デッキや駐輪場ビル建設など、箱ものにも巨額の税金を投入してきました。見通しのない同開発事業にこれ以上の無駄な税金投入は許されません。

## 天井知らず 巨額の税金投入

この西口北開発事業は、西口駅前周辺の6.5haの区域を、H34年完成予定で総事業費176億5400万円の市が施行する最大プロジェクトです。本年2月現在、事業費ベースの進捗率約68.5%、全体整備率は

約60%です。不透明な事業をひたすら進めた結果が整備を遅らせ事業費を膨張させています。無計画な建物移転が必要以上の多額の補償費を支出しています。

今後整備予定のA街区（駅直前）は、ビルが立ち並び計画区域内でもっとも事業が困難で整備費のかかる区域です。

日本共産党は、今年度予算11億3000万円について抜本的見直しを求めています。

## 日本共産党の提案 生活重視の街づくりに転換を

同事業は、必要最低限の基盤整備を重点に市民合意に基づく計画へと見直し、事業費の削減を図る。新たな建物建設より、空きビル・フロアの活用を図るなどで、駅前一極集中から生活重視のまちづくりへ転換する。

# 県議会 新年度予算審議始まる

(2/26～3/24)

県議会で、2016年度県予算案の審議が始まりました。同予算案一般会計は、1兆1208億2000万円で過去3番目の予算規模です。今、県民の暮らしは大変ななか、日本共産党は、社会保障の充実や雇用施策の推進、農業の振興、公共事業の防災や生活密着型への転換、大企業誘致優先から県内

中小企業育成・保護への転換など、県民本位の新年度予算とするため全力を尽くします。

## 上野県議

## 保健福祉委員

今年度、上野たかし県議は保健福祉委員会の所属となりました。県予算案中、保健福祉費は1970

億円余です。同予算案の中では、県民の要望を反映した、多子世帯の保育料軽減事業の予算化、がん対策の強化、伊奈養護学校の増築など、一部前進面もあり、さらなる拡充を求めています。国民健康保険税の県補助の復活、高校卒業までの医療費無料化、介護事業への県補助の新設など県民の願い実現へ、福祉予算の大幅増を求めみなさんと力を合わせます。

## 市の責任で待機児ゼロ！ 安心して預けられる保育所を

### 小瀬福祉会戸頭東保育園から撤退

選挙後2月16日臨時市議会では、不正経理と児童虐待で保育所経営から撤退せざるを得なくなった小瀬福祉会から、新たな法人（有松学園）に移管替えが日本共産党以外の賛成で可決されました。

### 戸頭東保育園（元公立）新法人へ

平成24年の公立保育所を無償譲渡する民営化を審議した当時の市議会で、民営化による保育内容とともに、現職（当時）市議の関係法人への移管について「政

治倫理条例抵触」疑惑で問題になりました。心配が現実のものとなった戸頭東保育園の運営について小瀬福祉会は、県の再三の指導にも関わらず改善することもなく、今年3月末を持って戸頭東保育園の運営から撤退することになりました。

### 問われる市の責任放棄

新法人への元公立戸頭東保育所移管に関する議案の審議に当たり、日本共産党は、小瀬福祉会による不適切保育、不正経理に至ったことへの取手市の保育行政についての反省・総括を厳しく求めまし

た。市の答弁で、小瀬福祉会の不正経理に含まれた一部公金の返還すら求める意思もないことが明らかになりました。

### 待機児ゼロへ・保育行政改善せよ

日本共産党は、保育現場で同じ誤りを繰り返さないためには、十分な総括を行うこと、公立保育所に戻すことを要求。86人と増え続ける待機児解消へ正規保育士の増員で、待機児童ゼロへゆき届いた保育行政の改善を求めました。